

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	勤労青少年ホーム各種講座運営事業	事業コード	1580
-----	------------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2041
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)	821	
		豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	青少年	青少年を健全育成する		青少年の健全育成
		「人の増えるまち」づくり	若者が活躍し、定住しやすい環境の充実	若者連携		

PLAN(計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	若者が教養を深め交流を図るための講座を開設し、青少年の健全育成を図る。				
	概要	青少年を対象に教養講座を開設。料理、生花、書道(ペン習字・細筆)、抹茶、エアロピクス等の講座を行い、そのほか若者が望んでいるその時々課題とニーズに応じた特別講座も行う。				
	法令根拠	勤労青少年福祉法				
	実施形態	現在	市直営	市の職員が講座の企画、運営について事務を行なっている。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	教養講座開講数		回	目標値	300	300	300	300	300
				実績値	327	323			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	教養講座年間受講者数		人	目標値	2100	2100	2100	2100	2100
				実績値	2383	2188			
	計算根拠	教養講座受講者数		達成率(%)	113	104.2			
				ランク	A	A			
実数値									

事業費/千円	区分	H23(2011)	H24(2012)	事業委員	正規職員	1	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,355	1,355		臨時・嘱託	1		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,336			※所要時間			経費区分	物件費
	繰越額	0	0						

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	青年が、社会人としての教養を高めたり、参加者同士の交流を図ることは、充実した生活を送る上で大いに有益であり、ニーズはあるものと判断する。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	勤労青少年福祉法で地方公共団体が事業を行うことになっている。	
		【競争】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> あり	主体	勤労青少年ホーム	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
			事業名	各種教養講座	
			根拠	若者のみの教養講座として気安く受講できる。また、基本的に勤労者のための施設であるため、夜間の講座開催ということも特徴である。	
	効率・効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
			事業名		
有効性		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最小限の経費であり、コスト削減は困難である。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	現行どおり、市の一般財源のほかに財源はない。	
		【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	高学歴化、晩婚化により青年と認識される年齢層が上がっていることに対応するとともに、青年のニーズを把握、ホームのPR、青少年以外の年齢層にも支障がない限り、受講や利用を認める等の措置を講じる必要がある。	

ACTION	【平成24年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成25年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成24年度取組み	広報による認知度アップとPR・昼間の時間帯における利用促進を図り、若者団体や若者育成団体との連携交流を進める。また、若者のニーズに即した講座を企画していく。	平成25年度計画	広報による認知度アップとPR・昼間の時間帯における利用促進を図り、若者団体や若者育成団体との連携交流を進める。

【H25提案型市民主役オープン事業実施】						<input type="checkbox"/> 不可能	〈不可能選択理由〉 その他
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能			
実施状況	-	未実施	未実施				